

沼津 アルプス トンネル

平成26年～令和2年

大平側坑口付近は、かつての石切り場跡であり、高さ50mの垂直の岩盤が露出していました。施工前の調査で亀裂や不安定な部分を確認されたため、グラウンドアンカーを追加し、坑口の上部を補強しています。



大平 高架橋

平成26年～令和5年

計画ルート上には、水田に適した肥沃な土壌が厚く堆積しており、橋台の基礎杭の掘削深さは60mを超え、場所打ち杭(全周回転オールケーシング工法)としては国内屈指の工事となりました。掘削機が摩擦によって動かなくなることを防ぐため、杭径を大きくし、連続作業を行うなどの工夫をしています。



見学会 ・訓練

工事に開催した見学会には、多くの方々に御来場いただき、ありがとうございました。

トンネル内には、万が一の車両火災を想定した非常用電話や消火設備があり、駿東伊豆消防本部と連携して、消火訓練や設備確認を行っています。



静岡県沼津土木事務所 工事第1課 055-920-2216 ・ 沼津市建設部建設デザイン調整室 055-934-4811



国道414号静浦バイパス 第1期工区(沼津市大平⇄下香貫)

祝 開 通

令和5年3月27日



静岡県沼津土木事務所
沼津市
静岡県道路利用者会議

全体計画図

□事業概要

国道414号は、下田市と沼津市を結ぶ伊豆半島の主要な観光ルートの一つです。観光シーズンを中心とした慢性的な渋滞が課題であるほか、現道は海岸沿いにあり、津波時に浸水が想定されています。また、歩行者・自転車が混在する狭隘な区間に、1日あたり2万台弱の交通量があります。

このため、平成4年に伊豆の国市南江間から沼津市下香貫までの約7kmのルートが4車線のバイパスとして都市計画決定されました。

□第1期工区

第1期工区は、沼津市大平から下香貫までの約2.5kmを、暫定2車線の計画で、平成6年に事業着手しました。沼津大平インターチェンジ、大平高架橋、沼津アルプストンネルなどから構成され、大平地区にて、既存の県道原木沼津線までを取付道路でつないでいます。

□事業効果

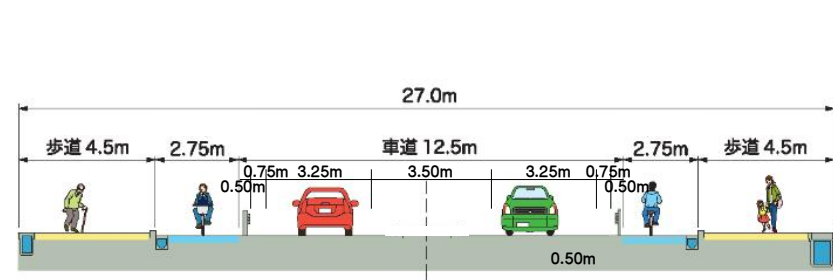
この開通によって、従来、大平地区から沼津市街地へは、約20分間を要していましたが、半分程度に短縮されることになります。また、交通ネットワークの多重化や、交通量分散による現道の歩行者・自転車の安全性の向上が見込まれています。



第1期工区

路線名	一般国道414号((都)沼津静岡線)
施工場所	沼津市大平～沼津市下香貫
延長	約2.5km
道路規格	第3種第2級(一部第4種1級)
設計速度	60km/hr
幅員構成	上下1車線
主要構造物	トンネル1、高架橋1
事業期間	平成6年度～令和4年度
事業費	206億円

標準断面図(暫定計画)



トンネル区間

